



平成20年(2008年) 9月10日発行

ふくしまファンクラブ 会報

第6号



「女の子が生まれたら、桐の木を3本植えよ」という風習。桐は生長が早く、子どもを嫁がせる時に花嫁道具に加工するためだったそうです。

◆ 三島と桐 ◆

三島町は350年に及ぶ植栽の歴史を持ち、藩政時代には地場産業として植栽されてきました。明治30年頃には約30万本の桐が植えられていましたが、近年は輸入材におさほどに。町の誇りでもある桐を守るため、植える・育てる・伐る・造る取組みを行っています。桐はとても軽く、調湿性があり丈夫ですが、さらに三島町の桐は、厳しい自然の中で

育つため、他と比べて木目が細かく、光沢があります。

◆ 桐を育てる ◆

町では、毎年約100本の桐苗を、農家などへ配っています。農家は畑の一部を使って、農作物と併せて管理。病害虫から守る日々の手入れ、肥やしをまいたり、手間をかけて育てられていきます。「生長が早く養分を必要とする桐は、連作が難しいため、土壌づくりが課題。」と話すのは、町役場産業建設課の小松昭さん。また、生長の早さと比例して二酸化炭素の吸収量が多く、

地球に優しい植物としても注目されています。

◆ 桐を加工する ◆

桐製品と言えば、やはり桐箆(たんぱん)です。今年の6月に県のブランド認証産品となった総桐箆(そうどう)下三洋は、会津桐タンス株式会社で製作されています。大事に育てられた桐は、アク抜きのため2年間雨ざらしにされた後、曲がりなどを直し、木目の通った一枚の板に仕上げ、製品をつくるための部品に加工されていきます。その材料を使い、職人が一棹(さ)ずつ作りあげる箆(ぱん)には、

盆(ひら)かけくり抜きや釘を使用しない蟻組(あきぐみ)構造など、桐の特性を活かした技法が使われています。最後の仕上げは、鉋(かんな)を使い、自分の目と手の感触が頼りだそうです。

町では、下駄や茶筒、能面などの伝統製品のほかに、サーフボードや音響の良さを活かした楽器など、新しい桐製品の開発も進めています。

桐は見た目にも美しいですが、実際に触れてみると、柔らかさや滑らかさ、温かさを感じる事ができます。桐(とう)郷(ごう)へ一度出かけてみませんか。



①植えて2年ほど経った桐
②ブランド認証を受けた総桐箆
③下駄となる材を乾燥させる輪積み
④アク抜きすると黒っぽくなる(手前)
⑤金属の釘の代わりに使う「うづぎ」
⑥滑らかな出し入れとなる盆かけくり抜き
⑦感触を確かめながら鉋をかける



今年から女性車掌も誕生した



ふくしまに住む Reason to Live in Fukushima

あぶきゅう名で地域の足として親しまれている鉄道があります。今回は、全線開業から今年で20年を迎えた「阿武隈急行」について、ご紹介します。

阿武隈急行線 主な駅



全線開業した時から、駅のホームや駅前広場などの清掃などを、駅周辺の地元の皆さんが協力してくれたり、福島県側に10駅ある無人駅では、

阿武隈急行の1日の乗降者数は、約8千人。ほとんどの方が、通勤や通学などに利用しています。

■ 地元にも愛される鉄道

阿武隈急行線は、県北の福島市にある福島駅からお隣宮城県の槻木駅までの24駅、約55キロを結ぶ鉄道です。阿武隈急行の前進は、槻木から丸森までを走っていた国鉄丸森線です。自分たちの鉄道であるという地元の方々の熱意により、昭和63年に全線開業に結びつきました。

マイレールボランティア駅長が、運営の補助をしてくれたりと、地元の方の心配りが駅を支えています。

■ 20周年を記念して

全線開業20周年を記念して、6月には記念式典が行われました。また、子どもたちが運転体験などができる「ちびっこ探検隊」を開催。普段使用している列車を運転したり、修理用のモーターカーに乗ったり、子どもたちの夏休みのよい思い出になったようです。

梁川駅構内には、阿武隈急行のこれまでの歴史がわかる

■ 阿武隈急行沿線の見どころ

資料なども展示されています。

沿線は見どころも満載です。地元に密着した鉄道ですが、

「おすすめのスポットはたくさんありますが、保原総合公園内にある旧亀岡家住宅（大泉駅下車）、やながわ希望の森公園（やながわ希望の森公園前駅下車）などです。また、宮城県との県境付近は風光明媚な景色が楽しめますよ」と、営業課営業係長の小島さん。

毎月沿線の情報を配信しているあぶ里メールや季節に合わせた企画チケットなどもあ

ります。

沿線では、毎月フリーウォーキングを開催し、毎回300人近い参加者がいらつしやいます。のんびり、ゆったり電車の旅に出かけてみませんか。

10/5 伊達家のふる里
ウォーキング
場所 梁川駅スタート やながわ希望の森公園ゴール
参加費 おとな500円、こども300円（保険料と飲食費）
内容 梁川城跡、八幡神社、広瀬川など伊達家ゆかりの地を散策



①福島から槻木まで約55キロを結ぶ ②今年の春に行われた花見山ツアーも盛況でした ③向瀬上付近には桃畑が広がります ④風光明媚な景色を楽しめる阿武隈川沿い ⑤お話を伺った小島さん ⑥子どもたちも大満足だった「ちびっこ探検隊」 ⑦地元に愛され20年



ふくしまをしる

識

ふくしま歴史探訪

吉野せい氏



執筆中の吉野せい
(いわき市在住
草野日出雄氏提供)

現在フルーツ王国福島では、梨が収穫の最盛期を迎えています。今回は、いわき市に生ま

れ、同市の好間にある菊竹山で夫とともに開拓農民としてトマトや苺、外来種の梨などを栽培し、晩年に作家デビューして地元風の土や生活を色濃く反映した秀作を残した、吉野せいを紹介します。

詩人たちとの出会い

明治32年いわき市小名浜に生まれたせいはい、小さい頃から本を読むのが好きで、近う海辺でよく本を読んでいたようです。詩人の山村暮鳥と出会い、いわき市鹿島町在住の考古学者、八代義定の書齋に通って多くの文学書などを読

んでいたせいはいは、八代から三野混沌(吉野義也)を紹介されました。大正10年に混沌と結婚。草野心平ら当時のいわき市に集まっていた詩人たちとの交流が始まりました。

書を捨て山に入る・次女梨花の死

せいはいは、暮鳥らの雑誌や福島民友新聞に短歌や短編を発表していましたが、混沌との結婚を機にそれまで書いた日記も原稿も焼き捨て、菊竹山での開墾生活に入りました。理想を求め、どちらかと言えば詩人として生きた夫混沌の代わりに、せいはいは仕事と家庭の切り盛りに没頭しました。そんな中、昭和5年、せいに再び創作への思いを強く植え付けたのが、次女梨花の死でした。

夫混沌の死

創作への熱い思いを抱いたまま開墾生活を送ってきたせいはいは、夫混沌の死後、草野心平らの励ましにより執筆を開始。昭和46年には、山村暮鳥と夫混沌との関わりをまとめた単行本『暮鳥と混沌』を発行しました。そして次の単行本『涙をたらした神』は、昭和50年に大宅壮一ノンフィクション賞と田村俊子賞という大きな文学賞を立て続けに受賞しました。この時、せいはいは76歳でした。

地辺でなし終えた やすらぎ

吉野せいの文章には、まったく無駄がなく、マグマのような情熱と人間の真実が選抜された清冽な言葉で書かれています。70代のせいはいにどうしてそんな凄みのある文章を書くことができたのか。その謎は、次の文章に集約されています。

(前略) この雲の変化する風景の中で、朽ちはてる今日まで私はあまり迷いもなかった。それは、さ

らんらんなる王者の椅子の

三野混沌詩碑 (いわき市好間菊竹山)

「天日燦として焼くがごとし 出でて働かざる可からず」と記されている。書は、草野心平によるもの。



龍雲寺 (いわき市好間)

吉野せい、三野混沌、次女梨花が眠る寺

豪華さにはこり高くもたれるよりも、地辺でなし終えたやすらぎだけを、畑に、雲に、風に、すり切れた野良着の袖口から突き出たかたい皺だらけの自分の黒い手に、銜いなくしかと感じているからかもしれない。
〔私は百姓女〕
〔涙をたらした神』収録より〕
少し時代は流れましたが、福島県にはまだまだ吉野せいが生きた時代の名残があります。せいはいが感じたやすらぎとせいの息吹を感じることができるといいですね。

◆◆◆山村暮鳥
1884年群馬県生まれ。明治、大正期に活躍し、詩人として知られる。代表作に『天日燦』がある。1924年茨城県大洗町で没。

◆◆◆大宅壮一ノンフィクション賞
大宅壮一の業績を記念して、優れたノンフィクション作品を送る賞。1970年から続く。格式ある文学賞のひとつ。財団法人日本文芸振興会が主催し、文藝春秋社が運営している。これまでの主な受賞作品は『日本ユダヤ人』(イザヤ・ベンダサン)、『ミカドの肖像』(猪瀬直樹)、『エイズ犯罪 血友病患者の悲劇』(櫻井よしこ)など。

◆◆◆田村俊子賞
優れた女流作家の作品に対して送られる賞。1960年にスタートし1976年の第17回で終了。これまでの主な受賞作品は、『田村俊子』(瀬戸内晴美)、『葎の母』(津島祐子)など



『涙をたらした神』
(普及版：彌生書房)



第二回目は、9月21日に国道289号「甲子道路」が開通する、南会津にある下郷町の湯田雄二町長にお話を伺いました。



下郷町
面積 317.09平方メートル
人口 7,036人



湯田町長

市町村からの てがみ

―甲子道路が開通となり期待していることは

高速道路や新幹線の駅などが近くなり、物流・観光・文化などの面で期待しています。観光客は、国道289号を通じて来る人が増えるでしょう。また、県南地方の企業にも通勤が可能になるため、定住人口の増加にもつながりたいです。医療面では、重病患者の搬送が会津若松市内だけでなく、白河市の病院へも可能になります。

―今後の町の取組みを教えてください

国道289号に、道の駅(食堂・トイレ・直売所)を今年度に完成させ、来年4月には営業開始予定です。また、初めての試みとして町内の耕作放棄地を企業に開放し、今年度はプロコリを栽培しています。さらに、目の前に蕎麦畑が広がる鶴が池地区に県内の自治体では初のクラインガルテン(滞在型市民農園)を整備中です。農作業は近くの農家の方々に手伝っていただき、地域の人と交流しながら、二地域居住へ、そして定住へと結びつけばと思っています。

―下郷町は有名な観光地が多いですね

観光地としては、大内宿や塔のつりが有名ですが、最近人気があるのは、観音沼森林公園です。写真撮影で訪れる方も多く、秋の紅葉シーズンも素晴らしい景色です。

また、元気なまちづくり支援事業で戸赤集落に活気が生まれています。山桜祭りの開催や、水車式木土工房の整備、廃校を宿泊施設として整備し、都会の子供たちが体験宿泊をしています。

見所の多い下郷町にぜひお越しください。



(左)大内宿 (右上)戸赤集落の水車式木土工房 (右下)観音沼森林公園



ふるさと納税のお知らせ

ふくしまを離れているけどふるさとに何か恩返しをしたいと思っている方、ふくしまが好きでよく訪れる方、県では、ふくしまを愛する多くの皆さんから「ふるさとふくしま応援寄附金」を受け付けています。平成20年8月31日現在、21件、738,800円の寄附の申込みをいただいております。寄附をされた場合、所得税やお住まいの自治体の住民税が軽減されます。“ふるさとふくしま”を守り育てていくため、ご支援をよろしくお願いいたします。

■問い合わせ先 福島県総務部税務課
電話 024-521-7067 FAX 024-521-7905
電子メール zeimu@pref.fukushima.jp

おいでください ふるさと帰郷フェア 2008

福島県内の自治体が参加し、ふるさと暮らしの相談に応じます。
東京 9月20日(土) 大手町サンケイプラザ
大阪 10月4日(土) アジア太平洋トレードセンター
<http://www.furusatokaiki.net/>

ふくしまのすてきなもん プレゼントクイズ

クイズに答えてくれた方の中から抽選で2名様に、三島町の桐製品をプレゼント!

問題

下駄の材とするため桐を乾燥させる方法は何でしょう?
ヒントは1ページ。

答:○積み

会津桐茶筒



応募方法 はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、会員番号、クイズの答え、今回の会報の感想などを明記し、下記のあて先へお送りください。

応募締切 10月31日(金) 必着
あて先 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16
福島県観光交流課

ふくしまファンクラブ「プレゼント」係

*当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。お預かりした個人情報は、賞品の発送などファンクラブに関する事務以外に使用することはありません。福島県個人情報保護条例に基づき、個人情報の目的外利用はいたしません。